

topic
01

デザイン科 第18回 有田ウィンドウディスプレイ甲子園設営



開会式では町長さん自ら激励



イメージをしながらの設営



設営中も様々なトラブルが

18回目の開催となったウィンドウディスプレイ甲子園。佐賀・福岡・長崎の6つの高校16チームが参加して、夏の有田町を賑わせてくれています。

7月31日の設営から始まり、16チームが創造した個性的な感性で8月27日まで町内店舗のショーウィンドウを飾ります。本校から参加しているデザイン科1年生から3年生の6チームは、打ち合わせや下見をしているものの、実際現場に入ると、予想外のトラブルなどに対しても、臨機応変に対応しながら、頑張って作業をしていました。



町家に映えるディスプレイ



店の外から覗いて検討



今年はこのチームが勝利？

topic
02

佐賀バルナーズ角田選手の講演会を行いました

パネラーの一人は本校の先生
なんと角田選手の高校の同級生

角田選手を囲むように座りました

次シーズンからいよいよB1リーグに加入するわれらが佐賀バルナーズ。7月26日(水)に、佐賀バルナーズの角田選手をお招きして、講演会を行いました。角田選手は佐賀県(江北町)出身の3ポイントシュートを得意とするバルナーズの主力選手です。

講演会では体育館で角田選手を囲むように生徒が座り、パネルディスカッションの形式で行いました。角田選手から、佐賀県出身選手として佐賀のプロチームに帰ってきたきっかけや、プロになるために意識したことなど、様々なお話を聞くことができました。

質問の時間には、バスケットボール部に所属している生徒を中心に硬いものから柔らかいものまでさまざまな質問が飛びましたが、角田選手はNGなしで答えてくださいました。

美しいフォームの3P
シュート
(もちろん入りました)

topic
03

佐賀市内の大型商業施設で セラミック科展を開催しました

毎年好評をいただいているセラミック科展を、今年も7月30日(日)に、佐賀市内のモラージュ佐賀で開催しました。湯呑みの絵付け体験では、1日で300個近くの体験が行われました。また、ろくろでも多数の方に体験をしていただくことができました。

また、博多駅隣接のデパートでも8月5日(土)、6日(日)に同じくセラミック科展を開催しました。

セラミック科の生徒が補助に入っの体験でしたが、子供たちとコミュニケーションをとりながら作品作りのお手伝いをするのができ、生徒にとっても学びが多く、貴重な体験をすることができました。来年もぜひ開催したいと考えていますので、足を運んでいただけることを楽しみにしております。



絵付け体験は常に席が埋まっています



生徒の作品も展示させてもらいました



博多駅ビルでも大盛況でした



ろくろ体験も順番待ちの行列ができています

topic
04

たくさんの中学生が体験入学に参加してくれました



受付時刻前からたくさんの方が待ってられます

今年の体験入学は、7月27日(木)、28日(金)の両日に行いました。県内様々な中学校から、また佐世保地区の中学校からも多数参加していただき、両日あわせて延べ250名以上の中学生の参加となりました。

ろくろ体験に絵付け体験、デジタルアートに缶バッジの制作、人工雷にプログラム制御、溶接に旋盤などなど、各科が工夫を凝らした体験を多数企画しており、希望する学科で様々な体験をしてもらいました。中には保護者の方が体験される姿もありました。また、2日間連続で参加し、異なる学科を体験してくれた中学生もいました。

中学生の方々には、有工の特徴や良いところを見ていただき、もちろん他校の長所と比べてもらって、悔いのない受験校の選択をしてもらいたいと思います。

体験入学への参加本当にありがとうございました。



セラミック科 ろくろ体験
生徒が褒め上手なので
中学生も楽しく体験



デザイン科 デジタルアート体験
有工が誇るデジタル
デザイン室でマック体験



電気科 高電圧体験
人工的な雷
放電現象を体験



機械科 ガス溶接体験
実際に金属を
溶かしてみる体験